

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2020年7月14日
【四半期会計期間】	第56期第1四半期（自 2020年3月1日 至 2020年5月31日）
【会社名】	株式会社フェリシモ
【英訳名】	FELISSIMO CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 矢崎 和彦
【本店の所在の場所】	神戸市中央区浪花町59番地
【電話番号】	(078)325-5555(代表)
【事務連絡者氏名】	財務部長 栗林 宏行
【最寄りの連絡場所】	神戸市中央区浪花町59番地
【電話番号】	(078)325-5555(代表)
【事務連絡者氏名】	財務部長 栗林 宏行
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第55期 第1四半期連結 累計期間	第56期 第1四半期連結 累計期間	第55期
会計期間	自2019年3月1日 至2019年5月31日	自2020年3月1日 至2020年5月31日	自2019年3月1日 至2020年2月29日
売上高 (百万円)	6,864	7,197	28,607
経常利益 (百万円)	32	15	365
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失() (百万円)	35	9	365
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	35	3	391
純資産額 (百万円)	16,809	16,708	17,162
総資産額 (百万円)	30,503	30,744	31,076
1株当たり四半期(当期)純利 益金額又は1株当たり四半期純 損失金額() (円)	5.15	1.43	52.57
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	55.1	54.3	55.2

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第55期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第55期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

5. 第56期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態及び経営成績の状況

経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間（2020年3月1日～2020年5月31日）における、わが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により急速な悪化が続いており、極めて厳しい状況にありました。また、個人消費につきましても、同感染症の影響により急速に減少いたしました。

このような状況の中、当社グループは経営理念である「しあわせ社会学の確立と実践」のもと、主力事業である定期便事業の構造強化と次代を担う新たな事業の育成に取り組んでまいりました。

定期便事業では、顧客との共感を基点とする継続的関係性重視型のマーケティングへの転換を進めております。当第1四半期連結累計期間も各種メディアを活用したマーケティングコミュニケーションと独創性に富む商品の投入を積極的に実施いたしました。

カタログやWebコンテンツ、Web広告、SNSなどの積極的な活用、また人気商品のテレビCMの実施や効果的なDM投入等の複合メディアコミュニケーションにより、当期間中のWebサイトへの訪問者数が伸長し、新規及び復活顧客数は前年同期に比べて大幅に増加いたしました。また、継続購入強化に向けた販売手法の改善により、継続顧客数についても前年同期を上回りました。売上高を分野別に見ますと、身に着けるだけで姿勢美人になれる「ヨガ気分ブラ」をはじめとしたインナー商品、CM投入や各種メディアに多く取り上げられた「レジカゴリュック」シリーズ、家でも外でも着心地軽やかな「frauglatt（フラウグラット）」のファッションアイテム、多くの話題を集めた日常に笑顔を提供する生活雑貨「YOU+MORE!（ユーモア）」シリーズ、オリジナル手芸キットで手作りを楽しむ「Couturier（クチュリエ）」等、緊急事態宣言下における在宅期間中の時間を楽しく豊かに過ごせる各種商品の売上げが前年同期に比べて大きく上回りました。新規事業分野では、当社の定期便プラットフォームに取引先事業者が出品・出荷できる「FELISSIMO PARTNERS（フェリシモパートナーズ）」事業において、マーケティング活動を強化したことにより売上げが前年同期に比べて大きく伸長いたしました。また、他社の物流及びEC支援事業につきましても、前年同期に比べて売上げが増加いたしました。

これらの活動の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は7,197百万円（前年同期比4.9%増）となりました。返品調整引当金繰入額及び戻入額調整後の売上総利益は、3,803百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、上半期での顧客基盤の拡大を目指して積極的にWeb広告やテレビCMを実施したことにより広告費が増加いたしました。また、顧客数が増加したことや、新型コロナウイルス感染症の影響で商品調達遅延が発生したことによる別送便件数の増加等によって出荷件数が増加し、それに伴い商品送料等の販売費が増加いたしました。さらに、減価償却費等の設備費が増加したことにより、販売費及び一般管理費は3,777百万円（前年同期比3.1%増）となりました。これらの結果、営業利益は26百万円（前年同期比8.2%減）となりました。

営業外損益では、受取利息等による営業外収益を22百万円計上した一方、為替差損等による営業外費用を33百万円計上したことにより、経常利益は15百万円（前年同期比52.4%減）となりました。

これらの結果、税金等調整前四半期純利益は15百万円（前年同期比62.0%減）となり、引当金の繰入額等の税務調整による税金費用を考慮した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は9百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益35百万円）となりました。

財政状態の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ331百万円減少し、30,744百万円となりました。これは主に季節的要因による商品の増加419百万円及び合同運用指定金銭信託購入による有価証券の増加211百万円に対し、現金及び預金の減少1,044百万円となったことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ122百万円増加し、14,036百万円となりました。これは主に季節的要因により、電子記録債務の減少239百万円及び支払信託の減少313百万円に対し、支払手形及び買掛金の増加503百万円及び賞与引当金の増加151百万円となったことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ453百万円減少し、16,708百万円となりました。これは主に当第1四半期連結会計期間に実施した自己株式立会外買付取引（ToSTNeT 3）による自己株式の増加415百万円及び剰余金の配当34百万円を行ったこと等による利益剰余金の減少44百万円によるものであります。

(2) 経営方針、経営戦略並びに事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの経営方針、経営戦略並びに事業上及び財務上の対処すべき課題について重要な変更等はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	33,427,200
計	33,427,200

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (2020年5月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年7月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,043,500	10,043,500	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	10,043,500	10,043,500	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
2020年3月1日～ 2020年5月31日	-	10,043,500	-	1,868	-	4,842

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2020年2月29日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 3,093,800	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,945,600	69,456	-
単元未満株式	普通株式 4,100	-	-
発行済株式総数	10,043,500	-	-
総株主の議決権	-	69,456	-

【自己株式等】

2020年5月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社フェリシモ	神戸市中央区浪花町59番地	3,093,800	-	3,093,800	30.80
計	-	3,093,800	-	3,093,800	30.80

(注) 当社は2020年4月21日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式取得に係る事項を決議し、2020年4月22日に東京証券取引所における自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)によって427,000株を取得いたしました。その結果、当第1四半期会計期間末日現在の自己株式数は3,520,802株となっております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2020年3月1日から2020年5月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,316	14,272
売掛金	2,729	2,927
有価証券	2,042	2,254
信託受益権	629	590
商品	3,894	4,313
貯蔵品	44	41
その他	771	624
貸倒引当金	38	41
流動資産合計	25,391	24,983
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	422	400
土地	1,946	1,946
その他(純額)	1,054	1,097
有形固定資産合計	3,423	3,444
無形固定資産		
投資その他の資産	863	905
投資有価証券	1,158	1,163
その他	239	248
投資その他の資産合計	1,398	1,411
固定資産合計	5,685	5,761
資産合計	31,076	30,744
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,113	2,161
電子記録債務	2,767	2,527
支払信託	2,392	2,078
未払法人税等	48	42
販売促進引当金	215	231
賞与引当金	155	307
その他の引当金	47	88
その他	1,679	1,658
流動負債合計	7,420	7,551
固定負債		
長期借入金	3,000	3,000
退職給付に係る負債	3,059	3,058
その他	434	426
固定負債合計	6,493	6,484
負債合計	13,913	14,036

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,868	1,868
資本剰余金	4,841	4,841
利益剰余金	13,444	13,400
自己株式	3,033	3,449
株主資本合計	17,121	16,661
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21	23
繰延ヘッジ損益	2	2
退職給付に係る調整累計額	17	26
その他の包括利益累計額合計	40	46
純資産合計	17,162	16,708
負債純資産合計	31,076	30,744

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位 : 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
売上高	6,864	7,197
売上原価	3,152	3,352
売上総利益	3,712	3,845
返品調整引当金戻入額	71	43
返品調整引当金繰入額	92	85
差引売上総利益	3,691	3,803
販売費及び一般管理費	3,662	3,777
営業利益	29	26
営業外収益		
受取利息	11	8
受取家賃	2	2
受取補償金	3	2
その他	7	8
営業外収益合計	24	22
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	20	30
持分法による投資損失	0	1
その他	0	0
営業外費用合計	21	33
経常利益	32	15
特別利益		
持分変動利益	8	-
特別利益合計	8	-
税金等調整前四半期純利益	40	15
法人税、住民税及び事業税	2	25
法人税等調整額	2	-
法人税等合計	4	25
四半期純利益又は四半期純損失()	36	9
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失()	35	9

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失()	36	9
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	1
繰延ヘッジ損益	5	4
退職給付に係る調整額	8	9
その他の包括利益合計	0	6
四半期包括利益	35	3
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34	3
非支配株主に係る四半期包括利益	0	-

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 当座貸越契約

当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行1行と当座貸越契約を締結しております。

この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
当座貸越極度額	1,000百万円	7,000百万円
借入実行残高	-	-
差引額	1,000	7,000

2. 四半期連結会計期間末日満期手形等

四半期連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形等の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
支払手形	90百万円	48百万円
電子記録債務	482	498
支払信託	764	707

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年5月31日)
減価償却費	61百万円	91百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月29日 定時株主総会	普通株式	34	5	2019年2月28日	2019年5月30日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年5月28日 定時株主総会	普通株式	34	5	2020年2月29日	2020年5月29日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、2020年4月21日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式の取得及びその具体的な取得方法として東京証券取引所における自己株式立会外買付取引(ToSTNeT 3)による買付けを行うことを決議し、2020年4月22日に自己株式を取得いたしました。

これにより、当第1四半期連結累計期間において自己株式が415百万円、自己株式数が427,000株それぞれ増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)

当社グループは、服飾・服飾雑貨及び生活関連商品を中心とした通信販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

1. 取引の概要

(1) 対象となった事業の名称及びその事業の内容

事業の名称 haco!事業

事業の内容 ファッションアイテムのEコマース販売

(2) 企業結合日

2020年3月1日

(3) 企業結合の法的形式

当社を分割会社とし、株式会社cd.(当社の連結子会社)を承継会社とする簡易吸収分割

(4) 結合後企業の名称

変更はありません。

(5) その他取引の概要に関する事項

当社のhaco!事業を分社化することで当該事業部門の意思決定の迅速化と組織の自律性を高め、新規事業の創出や企業連携を通じたさらなる事業拡大スピードの向上を図ることで、グループ全体の収益性の向上を目指しております。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	5円15銭	1円43銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額又は親会社株主に帰属する四半期純損失金額() (百万円)	35	9
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額又は親会社株主に帰属する四半期純損失金額()(百万円)	35	9
普通株式の期中平均株式数(千株)	6,949	6,764

(注) 1. 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年7月14日

株式会社フェリシモ

取締役会 御中

P w C あらた有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	川原光爵
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	北野和行

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フェリシモの2020年3月1日から2021年2月28日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2020年3月1日から2020年5月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フェリシモ及び連結子会社の2020年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。